

2020年8月17日（月曜日）

石川県金沢市兼六元町1番1号
一般財団法人 北陸私鉄バス労働会館
理事長 窪田 正尚

事業報告書

当一般財団法人「北陸私鉄バス労働会館」は北陸地方の私鉄バス産業に働く労働者をはじめ、石川県下の産業ならびに労働に関する知識の啓発・福祉・教養の向上に努めてまいりました。

まず初めに今回の事業報告は（2019年7月1日から2020年6月30日）の一年間です。

収入では、本年度11,863,107円昨年度11,459,343円となり403,764円増益となっております。対比致しますと、103.52%

支出では、本年度13,993,352円昨年14,176,580円となり183,228円減となっております。対比致しますと、98.71% となっております。支出を抑えられた要因は管理費関係と思われれます。

正味財産増減表では、2020年度2,130,245円の減となっております。

公益目的収支差額は、今年度は1,210,026円 公益目的収支差額の合計額は、8,100,278円となっており、残額は50,515,902円。完了予定事業年度は、2058年3月31日は変更ありません。

労働者の若年層を中心に、広く門徒開け、ホームページや北陸地連の窓口を設け、青年女性部の活動を根底とし一般の方々にも労働者の権利や教育、制度や組合活動を学ぶ機会を作り、労働者としての知識を学んでもらおうと思ってセミナーを年間6回開催（年7回予定でしたが、新型コロナウイルスの関係で1回開催を中止しております）してまいりました。

昨年と同額を石川県勤労者体育協会に10万円寄付し、スポーツ交流を通しまして労働者の福利厚生に寄与致しました

今後も当会館としての使命を果たしながら健全な事業として継続するための努力を重ねていきたいと考えております。

1. 会館運営にあたり、老朽化による修繕など極力経費節減に努めてまいりました。さらに二階テナントの入居募集にあたって来ましたがいまだ入居には至っておらず、不動産さんを仲介に入れ継続的に募集していきます。省エネルギー対策一環として、室内温度を夏は高め（28度）クールビズを実践し、冬は低め（20度）に設定、周知に啓蒙し、環境問題に取り組んでまいりました。また新型コロナウイルス対策として、入室時はアルコール除菌、マスクや三密を避けソーシャルディスタンスを保ちつつ運営してまいりました。
2. 青年女性部員に活動教育として、7回の講座開催を実施し予定でしたが、新型コロナウイルスで他県の移動を控えたため、第7回目の講座を中止とし、今期は6回の講座開催とし、労働運動と青年女性活動や今後の労働活動の基礎を教育してきました。

	開催日	講座名	講師名	参加人数
1回	2019年 7月 12日（金）	男女共同参加社会について	北陸地連書記長 山田 洋秋	32名
2回	2019年 9月 9日（金）	憲法改悪阻止に向けた今後の取り組みについて	岩淵 正明弁護士	30名
3回	2019年 11月 8日（金）	中級労働講座「各種闘争について」	北陸会館理事 此木 宏昭	20名
4回	2019年 12月 13日（金）	公共交通政策の実現に向けて	北陸会館理事 此木 宏昭	28名
5回	2020年 1月 17日（金）	20春闘について	北陸地連書記長 山田 洋秋	36名
6回	2020年 2月 19日（水）	バスをめぐる話題について 人・まち・歴史を支える金沢の交通まちづくり 20春闘情勢と組織強化	北陸信越運輸局 石川陸運支局輸送・監査部門 首席運輸企画専門官 木村幸典 金沢市都市政策局交通政策部交通政策課係長中川宏希 北陸会館理事長 窪田 正尚	40名
7回	2019年 4月 3日（金）	労働組合の必要性について	北陸地連書記長 山田 洋秋	中止

3. 石川県勤労者体育協会に10万円寄付し、労働者のスポーツ交流を通しまして労働者の福利厚生に寄与致しました。